



イメージ図

施設整備の内容

知識経験者2名を含む7名による灰溶融施設整備検討委員会を設けて、延べ10ヶ月に渡り6つの重要課題について検討を進めてきました。

環境に優しい施設
安全に配慮した施設
安定稼働に優れた施設
処理性能が優れた施設
資源循環に優れた施設
経済性に優れた施設

これらの検討をもとに施設の仕様をまとめました。

【建設場所】

富士見町 富士見5240番地 他

【溶融設備】

・建物面積 約1000平方メートル
・処理能力 15トン/日
（計画年間平均処理量 3750トン/年）

【処理対象物】

・諏訪南清掃センターの焼却灰
・茅野市最終処分場の焼却灰
・南諏衛生施設組合最終処分場の焼却灰

【工期】

平成18年度～平成20年度

【公害防止自主管理基準の設定】

*下表のとおり

【排水基準】

プラント用水は循環処理を行い、排水はしない。（クローズドシステム）

【溶融条件】

溶融温度は1300度以上とする。
【スラグ中の重金属溶出及び含有基準の設定】

*下表のとおり

〔公害防止自主基準表〕

項 目	自主管理基準	国の規制値
ばいじん	0.02g/m ³ N以下	0.15g/m ³ N以下
硫黄酸化物(SO _x)	80ppm以下	2,730ppm以下
窒素酸化物(NO _x)	150ppm以下	250ppm以下
塩化水素(HCl)	163mg/m ³ N以下	700mg/m ³ N以下
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m ³ N以下	5.0ng-TEQ/m ³ N以下

〔スラグ溶出及び含有量基準表〕

項 目	溶出基準	含有量基準*
カドミウム	0.01mg/L以下	150mg/kg以下
鉛	0.01mg/L以下	150mg/kg以下
六価クロム	0.05mg/L以下	250mg/kg以下
砒素	0.01mg/L以下	150mg/kg以下
総水銀	0.0005mg/L以下	15mg/kg以下
セレン	0.01mg/L以下	150mg/kg以下

*土壌汚染対策法の試験法による

総合評価競争入札の採用

建設費だけでなく、維持管理費と安全性等の技術力の評価を行う総合評価入札方式を採用して、機種を決定します。入札の評価基準は入札前に公表されます。

ごみ焼却灰もリサイクルして、循環型都市形成推進のための第一歩を踏み出します。皆様方一人ひとりのごみ減量化へのご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ】

諏訪南行政事務組合

（諏訪南清掃センター）

☎ 711-1633

FAX 711-1634

【住民説明会を開催します】

灰溶融施設整備検討委員会の答申内容について、住民説明会を開催します。

■日時 5月21日(日) 午後7時から

■会場 町民センター 2階 大会議室

■内容 灰溶融施設整備検討委員会の答申内容